

世界シェアNo.1の総合ブレーキシステムメーカー。  
先進性メカトロ技術でモビリティ社会をサポート。

代表取締役社長

**大河原 栄次**

大学で学ぶ時間は4年から6年、学生時代に習ったことはあくまで基礎知識です。企業に入ってから実践の知識、経験を積んで一人前の社会人になるのです。知識があることより、自分がやりたいことに向かってあきらめずに進んでいく強い精神や高い志を持つ人、また発想の自由度の高い人と一緒に仕事をしていきたいですね。

開発4部(材料開発担当)

**青木 盛雄**

工学部応用化学科卒業  
2008(平成20)年4月入社

私は、石油掘削機用のゴムシール材など、『世界を変えるゴム』の開発を目指し、材料の研究開発を行っています。仕事は失敗の連続で、厳しく苦しいものですが、職場の雰囲気も良く、周りのサポートも厚いので、とても良い環境で仕事ができます。どんな仕事も複数の『人間』がやるものです。人との繋がりを大切にしてください。

## 企業の強み

- 日信工業は、二輪車ブレーキにおいて、世界シェアNo.1企業。コア技術は、電子制御技術、油圧制御技術、アルミの铸造・加工・組立まで一貫して製造できる技術で四輪車および二輪車一台分のブレーキシステムを開発・製造し、提供できることである。また、各従業員が向上心を持ち、チームとしての協調性および一体感と目標達成への拘りとスピードがある。
- これらの強みを武器に、世界展開をすることで、「高品質・廉価」な製品を世界中に提供している。

## 目指す企業の姿

- ▶経営理念** 基本理念：心の豊かさ 貢献  
社 是：常に世界の変化に先がけて、お客様と社会のニーズに応え、優れた商品と技術とアイデアを供給する
- ▶経営戦略** ・ブレーキは、二輪・四輪を問わず、車にとって最も大切な部品。エンドユーザーに信頼されるブレーキシステムを自動車メーカーに提案し続けていくことが基本的な姿勢。今後は、協調回生ブレーキなど省エネルギーにつながる先進技術と、二輪車のブレーキシェアNo.1のシナジー効果で四輪車市場のシェア拡大をしていく。
- ▶将来ビジョン** ・2013(平成25)年10月に、創業60周年の本年を期して、中期経営ビジョン「2025年ビジョン」を策定した。  
・その骨子は、モビリティの安全・安心、環境に対し社会貢献することを目標とし、それを成し遂げるための人材の育成、さらに従業員が十分に力を発揮できる社内環境の整備にも力を入れ、世界No.1ブレーキメーカーを目指すというものである。

## 基礎情報

**事業内容** 四輪車・二輪車向けブレーキ装置およびアルミ製品等の開発・製造・販売  
**所在地** 〈本社〉長野県上田市国分840  
**資本金** 36億9,400万円  
**従業員数** 9,033人  
**設立** 1953年  
**売上高** 1,743億円  
**初任給** 大卒▶206,330円  
高卒▶155,720円  
**福利厚生** 新車購入時特別優遇制度、持株会制度、独身住宅補助制度、子育てサポート認定事業主に認定済み、各種社会保険加入、等  
**休日・休暇** 年間休日：121日、長期休暇：GW休暇・夏季休暇・年末年始休暇・節日休暇、年次有給休暇、産前産後休暇、介護休暇、等

最近の雇用状況

	22年度	23年度	24年度
採用人数	18	19	37



学生記者による取材風景



製品群

## 学生から見た魅力

### 働きがい

- ★たとえ辛く、苦しい仕事でも周囲のサポートとチームワークという恵まれた環境で仕事ができると感じた。また、人との繋がりを実感し、達成感を得ることで働きがいを感じられるとお話しは納得できた。
- ★学生時代に得たものは「基礎」に過ぎず、成長するために重要視されるのは「志」だということだった。意識が高い方、発想の自由な方は活躍の場が広いと思った。

### 職場の雰囲気

- ★普段は、どちらかというものの静かな雰囲気だが、一度始めたら徹底的に実行する社風だとお聞きした。
- ★社員さん全員に総じて言えることだが、とても「良い人が多い」ということ。お互いフォローし合い、チームワークが良い印象であった。

### 将来性

- ★社長のお話を伺っているとその将来ビジョンの可能性だけでなく、凄いエネルギーとバイタリティを感じた。
- ★現在、コアとなっている二輪車市場だけでなく、競争の激しい四輪車市場でも世界No.1ブレーキメーカーとなる可能性を秘めていると思った。